

令和6年3月

令和5年度事業報告書

一般社団法人 日本戦没者遺骨収集推進協会

令和5年度は新型コロナウイルスの感染状況も徐々に落ち着きを見せ始めた中、日本国内及び派遣対象国の感染状況の推移等を総合的に判断し、日本戦没者遺骨収集推進協会（以下「本協会」という。）が計画した国内及び海外での遺骨収集事業について、派遣出発前に派遣団員が抗原検査を受検し全員の陰性を確認するなど新型コロナウイルスの感染予防対策等を講じながら、事業を実施した。

また、職場内における新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、基本的な感染予防対策を引き続き実施した。事業の概要は以下のとおりである。

1 戦没者の遺骨収集のために必要な情報の収集

(1) 国立公文書館等における資料調査

令和5年度事業計画書において、海外資料調査事業1回の実施を予定し、新たに調査が可能となった施設や現地調査の結果等により追加の調査が必要となった施設を対象に資料調査を行うこととしていたが、対象となる施設がなかったため、調査を実施しなかった。

事業計画書に対する実施状況

地域	事業計画書 回数	実施 回数	中止 回数
海外資料調査	1	0	1
合計	1	0	1

(2) 海外における戦没者の遺骨収集事業の実施について

令和5年度は、派遣地域における新型コロナウイルスの感染リスク等を総合的に判断しながら、各対象地域において派遣を実施した。

派遣の実施に際しては、抗原検査による日本出国前の派遣者の陰性確認や派遣期間中の感染予防対策について派遣団内で共有し、安全な派遣の実施に努めた。

派遣期間中の団員に感染者が生じた際には、派遣団の活動を休止して感染拡大を抑止し、感染が疑われる症状がある者には現地医療機関を受診させるなど、状況に応じて適切な処置を行った。

(3) 国内情報等

令和5年度は以下3件について国内情報の調査を行い、当該情報をもとに現地調査を行った。

ア ミクロネシア連邦ポンペイ島の帰還兵（故人）の家族と連絡を取り、聞き取りや提供された資料等で埋葬地の位置を確認し、派遣団が現地を訪問した際に地権者から試掘調査の許可を取得した。

イ ミャンマーのワウ地区にある寺院内に日本兵の埋葬地があり、寺院側から墓参に訪れている帰還兵（故人）の家族から遺骨発掘の同意を得て欲しいと要望され、福岡県を訪問し当該家族から発掘の同意を得た。現地調査において試掘

を実施したが遺骨発見には至らなかった。

ウ 台湾高雄市在住の日本人の方より、台湾南部台南県と屏東県の寺院に保管中の日本人戦没者遺骨やバシー海峡で撃沈された輸送船から漂着した遺体の埋葬地等の情報が度々提供され、同氏が令和6年2月に一時帰国した際に面会し、詳細につき聞き取りをした。聞き取り内容をもとに現地調査派遣の実施について検討中。

2 遺骨情報の現地調査事業

(1) 実施報告

令和5年度事業計画書において、海外現地調査事業56回の実施を予定していたが、27回を実施し、30回を中止した。

(2) 事業計画書に基づく現地調査等の実施状況

ア 事業計画書に対する実施状況

地域	事業計画書 回数	実施 回数	中止 回数
ミャンマー	4	1	3
マリアナ諸島	8	7	1
パラオ諸島	4	3	1
トラック諸島	1	0	1
ギルバート諸島	1	1	0
マーシャル諸島	1	1	0
東部ニューギニア	7	6	1
ビスマーク・ソロモン諸島	6	3	3
オーストラリア	1	0	1
インド	2	2	0
北ボルネオ	1	0	1
モンゴル	1	0	1
樺太・千島	1	0	1
フィリピン	14	0	14
インドネシア	3	1	2
バングラデシュ	1	1	0
その他中部太平洋(ミクロネシア)	0	1	0
合計	56	27	30

※「その他中部太平洋(ミクロネシア)」については、当初は遺骨収集派遣として計画していたが、現地調査派遣に変更して実施した。

イ 各地域における実施状況

派遣地域・派遣名	派遣日程	日数	派遣人員(名)			備考
			社員	職員	合計	
ミヤコ-現地調査派遣(第1次)	1/10 ~ 1/18	9	0	2	2	
マリア諸島現地調査派遣(第1次)	5/11 ~ 5/22	12	5	3	8	
マリア諸島現地調査派遣(第2次)	7/15 ~ 7/23	9	2	2	4	
マリア諸島現地調査派遣(第4次)	8/17 ~ 9/1	16	6	2	8	
マリア諸島現地調査派遣(第5次)	9/14 ~ 9/29	16	7	2	9	
マリア諸島現地調査派遣(第6次)	10/23 ~ 11/10	19	0	2	2	
マリア諸島現地調査派遣(第7次)	1/28 ~ 2/10	14	6	2	8	
マリア諸島現地調査派遣(第8次)	2/21 ~ 3/7	16	7	2	9	
パヲ諸島現地調査派遣(第1次)	5/15 ~ 6/3	20	6	8	14	
パヲ諸島現地調査派遣(第2次)	7/17 ~ 7/31	15	5	11	16	
パヲ諸島現地調査派遣(第3次)	10/2 ~ 10/16	15	5	9	14	
ギルバト諸島現地調査派遣	8/29 ~ 9/8	11	2	2	4	
マニラ諸島現地調査派遣	7/4 ~ 7/14	11	2	2	4	
東部ニューギニア現地調査派遣(第1次)	5/12 ~ 5/25	14	3	2	5	
東部ニューギニア現地調査派遣(第4次)	11/10 ~ 11/25	16	4	4	8	
東部ニューギニア現地調査派遣(第6次)	2/2 ~ 2/9	8	2	3	5	
東部ニューギニア現地調査派遣(第7次)	3/3 ~ 3/11	9	2	3	5	
ビスマーク・ソロモン諸島現地調査派遣(第1次)	6/4 ~ 6/15	12	6	4	10	
ビスマーク・ソロモン諸島現地調査派遣(第2次)	7/28 ~ 8/11	15	5	3	8	
ビスマーク・ソロモン諸島現地調査派遣(第3次)	10/1 ~ 10/15	15	2	2	4	
インド 現地調査派遣(第1次)	10/1 ~ 10/17	17	4	2	6	
インド 現地調査派遣(第2次)	2/18 ~ 3/5	17	4	3	7	
インド 初年現地調査派遣(第3次)	2/25 ~ 3/6	11	4	2	6	

バングラデシュ現地調査派遣	8/26 ~ 9/2	8	0	3	3	雇上考古 学者含む
ミクロネシア連邦オレアイ(ルボ)環礁現地調査派遣	2/13 ~ 2/21	9	2	2	4	
合計			91	82	173	

※現地調査を実施し検体を送還した派遣については、「3. 戦没者の遺骨の収容や本邦への帰還事業 (2) 事業計画書に基づく遺骨収集の実施状況 ②各地域における実施状況(海外)」に記載した。

3 戦没者の遺骨の収容や本邦への帰還事業

(1) 実施報告

令和5年度、国内における戦没者遺骨収集派遣を硫黄島で実施した。渡島10日前及び派遣期間中は新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じて実施した。事業計画書においては、遺骨収集派遣4回と、フォローアップ調査16回の合計20回を実施する予定で、このうち遺骨収集を3回、フォローアップ調査13回の合計16回を実施した。硫黄島沖の噴火により遺骨収集1回、フォローアップ調査3回、計4回は中止した。

海外については、事業計画書において27回の実施を予定していたが、10回(内追加派遣2回)を実施し、相手国の事情等により19回を中止した。

(2) 事業計画書に基づく遺骨収集の実施状況

ア 事業計画書に対する実施状況

(国内)

地域	事業計画書 回数	実施 回数	中止 回数
硫黄島(遺骨収集)	4	3	1
硫黄島(フォローアップ調査)	16	13	3
合計	20	16	4

(海外)

地域	事業計画書 回数	実施 回数	中止 回数
ミャンマー	1	0	1
マリアナ諸島	1	0	1
パラオ諸島	1	1	0
トラック諸島	1	2	0
ギルバート諸島	1	0	1
マーシャル諸島	1	1	0

東部ニューギニア	1	0	1
ビスマーク・ソロモン諸島	3	2	1
バヌアツ	1	0	1
インド	1	0	1
旧ソ連(遺骨収集)	5	1	4
旧ソ連(埋葬地調査)	0	1	0
モンゴル	1	1	0
樺太・千島	1	0	1
フィリピン	2	0	2
インドネシア	2	1	1
バングラデシュ	2	0	2
その他中部太平洋(ミクロネシア)	2	0	2
合計	27	10	19

※「トラック諸島(沈没艦船)遺骨収集派遣(第2次)」及び「旧ソ連抑留中死亡者遺骨収集事前協議・埋葬地調査・(ガブラス共和国)」については、追加で実施した。

イ 各地域における実施状況
(国内)

派遣地域・派遣名	派遣日程	日数	派遣人員(名)			収容 柱数	送還 柱数	備考
			社員	職員	合計			
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 (第1次)	7/25 ~ 8/10	17	22	6	28	17	17	
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 (第2次)	9/26 ~ 10/12	17	26	6	32	22	22	
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 (第4次)	1/30 ~ 2/15	17	25	5	30	27	27	
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 フォアアップ調査(第1次)	6/8 ~ 6/21	14	2	2	4			
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 フォアアップ調査(第2次)	6/20 ~ 7/6	17	2	3	5			
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 フォアアップ調査(第3次)	7/5 ~ 7/19	15	2	2	4			
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 フォアアップ調査(第4次)	7/18 ~ 7/26	9	3	2	5			

硫黄島戦没者遺骨収集派遣 フオ-アツプ調査(第5次)	8/8 ~ 8/23	16	2	3	5			
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 フオ-アツプ調査(第6次)	8/22 ~ 9/6	16	1	2	3			
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 フオ-アツプ調査(第7次)	9/5 ~ 9/27	23	2	2	4			
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 フオ-アツプ調査(第8次)	10/10 ~ 11/1	23	2	2	4			
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 フオ-アツプ調査(第9次)	10/31 ~ 11/16	17	2	2	4			
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 フオ-アツプ調査(第12次)	1/17 ~ 2/1	16	2	2	4			
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 フオ-アツプ調査(第14次)	2/14 ~ 2/29	16	2	2	4			
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 フオ-アツプ調査(第15次)	2/28 ~ 3/13	15	2	2	4			
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 フオ-アツプ調査(第16次)	3/12 ~ 3/27	16	1	2	3			
合計			98	45	143	66	66	

※硫黄島戦没者遺骨収集派遣(第3次)及びフオ-アツプ調査(第10次)、(第11次)、(第13次)は中止

(海外)

派遣地域・派遣名	派遣日程	日数	派遣人員(名)			収容柱数	検体柱数	送還柱数	備考
			社員	職員	合計				
パ-オ諸島戦没者遺骨収集派遣	11/27 ~ 12/13	17	9	7	16	55	122	0	
トラック諸島(沈没艦船)現地調査・遺骨収集派遣	10/17 ~ 10/29	13	2	2	4	6	4	0	※
トラック諸島(沈没艦船)遺骨収集派遣(第2次)	2/25 ~ 3/1	6	0	1	1	0	2	0	
マ-シャル諸島現地調査・遺骨収集派遣	10/24 ~ 11/8	16	2	3	5	21	21	0	※

東部ユーゴスラビア現地調査・遺骨 収集 派遣(第2次)	6/30 ~ 7/15	16	3	2	5	0	3	0	※
東部ユーゴスラビア現地調査・遺骨 収集 派遣(第3次)1班	9/15 ~ 9/30	16	3	2	5	3	0	0	※
東部ユーゴスラビア現地調査・遺骨 収集 派遣(第3次)2班	9/8 ~ 9/22	15	3	2	5	7	23	0	※
ビスマルク列島の諸島遺骨収集 派遣(第1次)	7/28 ~ 8/11	15	7	3	10	41	135	0	
ビスマルク列島の諸島遺骨収集 派遣(第2次)	3/8 ~ 3/21	14	7	4	11	108	51	0	
旧ノ連印留中死亡者遺骨収 集派遣(ガブラス共和国)	9/30 ~ 10/12	13	3	5	8	0	0	13	
旧ノ連印留中死亡者遺骨収 集 事前協議・埋葬地調査派遣 (ガブラス共和国)	7/11 ~ 7/26	16	0	2	2	0	0	0	
モゴル(モル事件)現地調査・ 遺骨収集派遣	7/25 ~ 8/9	16	2	2	4	21	21	0	※
インドネシア現地調査・遺骨 収集派遣(第1次)	11/25 ~ 12/9	15	4	3	7	0	0	0	※
合計			45	38	83	262	382	13	

※「現地調査・遺骨収集派遣」については、現地調査をあわせて実施している。

4 研修の実施状況

派遣参加者の実践的能力・技術向上のため、令和5年度は以下のとおり職員及び社員団体会員を対象に研修を行った。

各研修は、講座の性質に応じて成果を確認した。外傷対応や骨学などは講師による実技確認や試験が行われ、実務を通じて習得度合いを確認した。

開催月	研修テーマ	参加人員(名)			月別集計	
		社員	職員	合計	参加人員	講座回数
4	第1回野外訓練(ソロモン会共催)	22	5	27	50	3
	第2回安全対策研修	14	3	17		
	第16回骨学研修(厚労主催)①	5	1	6		
5	第16回骨学研修(厚労主催)②	5	1	6	32	3
	第16回骨学研修(厚労主催)③	5	1	6		
	第4回DNA鑑定研修(厚労主催)	19	1	20		
6	第1回情報リテラシー研修	0	10	10	10	1
7	第2回情報リテラシー研修	0	10	10	10	1
8	普通救命講習(第1回)	0	10	10	18	2
	普通救命講習(第2回)	0	8	8		
10	第6回外傷対応研修	6	0	6	13	2
	第7回外傷対応研修	4	3	7		
11	第2回野外訓練(ソロモン会共催)	12	2	14	39	3
	第6回健康管理マニュアル研修	2	12	14		
	第3回安全対策研修	6	5	11		
3	第4回安全対策研修	6	7	13	13	1
合計		106	79	185	185	16

5 法人及び事務局の運営

(1) 旅行業者等の選定

令和5年度における旅行業者等の選定を公募により以下のとおり実施した。

派遣地域・派遣名	業者名
ミヤマ-現地調査派遣(第1次、第2次)	東武トップツアーズ株式会社
マリア諸島現地調査派遣 (第1次、第2次、第4次~第8次)	名鉄観光サービス株式会社

パオ諸島現地調査派遣(第1次~第3次)	株式会社アイザージャパン
パオ諸島戦没者遺骨収集派遣	
トラック諸島(沈没艦船)現地調査・遺骨収集派遣	小田急電鉄株式会社
トラック諸島(沈没艦船)遺骨収集派遣(第2次)	小田急電鉄株式会社
ギルバート諸島現地調査派遣	東武トップツアーズ株式会社
マ셜諸島現地調査派遣(第1次)	東武トップツアーズ株式会社
マ셜諸島現地調査・遺骨収集派遣	東武トップツアーズ株式会社
東部ニューギニア現地調査派遣(第1次)	名鉄観光サービス株式会社
東部ニューギニア現地調査・遺骨収集派遣 (第2次、第3次)	小田急電鉄株式会社
東部ニューギニア現地調査派遣(第4次)	
東部ニューギニア現地調査派遣(第5次~第7次)	名鉄観光サービス株式会社
ビスマーク・ソロモン諸島現地調査派遣 (第1次~第3次)	名鉄観光サービス株式会社
ビスマーク・ソロモン諸島遺骨収集派遣 (第1次、第2次)	名鉄観光サービス株式会社
インド現地調査派遣(第1次、第2次)	東武トップツアーズ株式会社
旧ソ連抑留中死亡者遺骨収集派遣 (ガブスタ共和国)	東武トップツアーズ株式会社
モンゴル(モハル事件)現地調査・遺骨収集派遣	東武トップツアーズ株式会社
インドネシア現地調査派遣(第1次~第3次)	東武トップツアーズ株式会社
バングラデシュ現地調査派遣(第1次)	名鉄観光サービス株式会社
ミクロネシア連邦オレアイ(ルコ)環礁現地調査派遣	名鉄観光サービス株式会社

(2) 職員勤務体制について

令和5年5月より新型コロナウイルスが感染症第5類となり感染対策が事業主の判断に委ねられることとなったが、派遣出発前、帰還後の感染を防止するため、

引き続き10月末まで週2日程度の在宅勤務を継続したが、11月以降は感染予防対策を講じつつ通常勤務体制とした。

(3) 事務局長候補者の採用について

竹之下専務理事が兼務している事務局長職の後任候補として10月1日付、佐藤宏氏を採用した。当面、事務局次長とし、3月26日開催された第34回定時理事会において4月1日付、事務局長就任が承認された。

(4) 正職員採用について

海外派遣が順調に回復し、派遣が集中する期間においては明らかに職員が不足することから8月1日付、2名、9月1日付、1名、令和6年1月1日付、1名、3月1日付、2名 計6名を採用した。なお、年度内に2名が退職した。

(5) 理事会の開催

ア 第32回定時理事会を6月6日に本協会ビル会議室で開催した。

理事11名監事2名が出席し「令和4年度事業報告書(案)及び収支決算書(案)」が承認された。

イ 第33回臨時理事会が8月30日、書面決議により行われ佐藤宏氏を事務局長候補者として採用する旨、承認された。

ウ 第34回定時理事会が3月26日、本協会会議室において開催された。

理事7名、監事1名が出席し、「令和6年度事業計画書(案)及び収支予算(案)」が承認された。また第33回臨時理事会において事務局長候補として採用された佐藤宏事務局次長の事務局長就任が承認された。各事業部の担当地域を変更する「組織規程の改正案」は保留となり継続審議となった。

(6) 社員総会の開催

第12回定時社員総会を6月27日に本協会会議室で開催した。10社員団体(3団体は委任状提出)と監事2名が出席し、「令和4年度事業報告書(案)及び収支決算書(案)」が承認された。

(7) 監事会の開催

5月26日に盛川監事、反町監事が出席し、監事会を開催した。公認会計士からの監査報告を踏まえ、「令和4年度事業報告書(案)及び収支決算書(案)」を報告し、総勘定元帳、仕訳伝票、預金残高等の会計書類を確認いただいたうえで監事による監査報告書が作成された。その他、本協会の運営状況に対して助言及び指導があった。

(8) 指定法人指導監査について

9月6日、7日、本協会会議室にて「令和5年度戦没者の遺骨収集に関する活動を行う指定法人指導監査」が行われた。

本年度監査においては文書による是正又は改善を要する事項は認められなかった。口頭指摘事項として「会計規則に基づいた契約手続の順守」、「適切な物品の管理」、「休暇取得の適切な手続」、助言事項として「振替休日の取得時期」、「旅行命令の変更による旅行命令簿への変更決定日の記載」があった。

(9) 戦没者の遺骨収集に関する有識者会議の開催

7月19日、「令和5年度第1回戦没者の遺骨収集に関する有識者会議」がTKP新橋カンファレンスセンターで開催され、次の議題が審議された。

- ア 戦没者の遺骨収集事業の取組状況について
- イ 戦没者遺骨鑑定の取組状況について
- ウ 令和5年度予算について

また、令和6年3月19日、「令和5年度第2回戦没者の遺骨収集に関する有識者会議」がTKP新橋カンファレンスセンターで開催され、次の議題が審議された。

- ア 指定法人への指導監査結果について
- イ 戦没者の遺骨収集事業の取組状況について
- ウ 戦没者遺骨鑑定の取組状況について
- エ 令和6年度予算案について

(10) 協会事務所移転について

限りある委託費を最大限に遺骨収集事業に資するため、事務所家賃削減を目的とし令和6年3月18日に現事務所に移転をした。集中実施期間である令和11年までの6年間で4千万円程度の削減となる見込み。